

うめむら こうじ
梅村 貢司（愛知県豊田市）

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
もみゆたか	7.8ha	690kg/10a	214kg/10a(476kg/10a) [※]

※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】

- 家族経営
- 地域の耕地の集積を進めており、水稻作を中心に取り組んでいる。

【作付品目】

- 主食用米
 - ミネアサヒ ほか 2.8ha
- 飼料用米(種子用を含む)
 - もみゆたか 7.8ha



愛知県



豊田市

【取組のきっかけ】

- 農地集約による規模拡大を機に、農業経営の安定化を図り需給調整に取り組むに当たり、安定した収入が見込める飼料用米に着目し、平成19年から実需者と契約を交わし生産に取り組んでいる。

【取組概要】

- 令和3年産から、多収性もある知事特認品種「もみゆたか」を選定し栽培に取り組んでいる。
主食用米は「ミネアサヒ」で取り組んでおり、早生の「ミネアサヒ」の収穫後に晩生の「もみゆたか」の収穫を行うことで作期分散を図り、主食用米とのコンタミ防止を徹底している。
- ①飼料用米の作付けの団地化により生産コスト低減及び作業の省力化・効率化を図る、②田植えと同時に基肥、除草剤を散布することで作業の効率化とともに初期生育の向上を図る、③出荷にフレコンを使用し作業効率を高める等の取組みを行っている。
- 施肥管理は、①鶏ふん堆肥を利用するとともに、②基肥(化成肥料(14-14-14))を導入している。
- 実需者と、施肥のタイミング等の肥培管理について打合せを行い、生育状況の確認を行いながら管理しており、実需者ニーズを満たした品質の飼料用米生産に取り組んでいる。